

たかとりちどりだより



令和8年 1月 第123号
たかとりちどり保育園



新年 あけまして おめでとうございます

宮田 孝一

令和ハ(2026)年、丙午(ひのえうま)が明けました。暦と天候に恵まれ、穏やかな正月を迎えたこととお慶び申し上げます。

さて、今年の干支(えと)が気になります。昨年の園だより1月号に、「来年は午年、それも60年に一度の丙午(ひのえうま)です。江戸時代に広まったとされる迷信によって、この年は出生数が減少する傾向にあると言われています。令和の時代には、そのようなことは起こらなかつたと、後世に伝えられることを願います。」と書きました。

2023年の我が国の合計特殊出生率(1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標)が、過去最低の1.20になったとのニュースが話題になりました。出生数も72万7千人で過去最少でした。

24年は68.6万人、そして昨年は66.8万人の見込み(12月23日現在厚労省発表)でした。日本の「人口減少はもう止められない。」「いや、今が最後のチャンスだ。」と諸説が唱えられていますが、今年こそ全国に元気な産声がたくさん上がる事を願います。

丙午の年は、いずれも「火」の象徴である丙と午が重なることから、情熱や活力、行動力や変化の年と言われています。「アリストテレス・オナシス 愛新覚羅溥儀 ハンス・アスペルガー ジョン・ロックフェラー 朝永振一郎 エスティ・ローダー 第十三代酒井柿右衛門 ドーミトリー・ショスタコヴィッチ 坂口安吾 ルキノ・ヴィスコンティ 滝沢修 本田宗一郎 伊東静雄 林竹二」120年前の丙午(1906年)生まれの人物を、知り得る範囲で生まれ月順に並べてみました。大富豪に清朝最後の皇帝、ノーベル賞受賞者に文豪や巨匠、そして人間国宝に「オヤジさん」と慕われたホンダ創業者と、まさに火の年に生まれた人だと思わせる、錚々たる顔ぶれですね。

最後になりましたが、皆様の益々のご健康とご多幸をお祈りするとともに、本園への一層のご理解とご支援をお願いし、新年のご挨拶といたします。



1月の予定



誕生会	7日（水）
歯磨き指導（3, 4, 5歳児）	8日（木）
救急訓練	9日（金）
発育測定	14日（水）～16日（金）
神戸元町ちどり交流（5歳児）	15日（木）・22日（木）
避難訓練	16日（金）
保護者会・講演会	24日（土）
体育あそび	14日（水）・29日（木）



あさひぐみ

今月は椅子に座って様々な遊びを楽しみました。シール貼りでは、自分で台紙からシールを剥がすことができるようになり、一人で貼ることを楽しんでいます。なぐり描きでは、以前よりも力強くダイナミックに描く姿が増えてきました。レナモザイクやプラスティンなどの玩具に関心をもち、指先を使いながら集中して遊ぶ姿も見られます。今後も一人ひとりの興味や発達に合わせて玩具を提供し、したい遊びができる環境を整えていきます。

少しずつ着脱に興味が湧いてきたようで、ズボンを自分で履こうとしたり、袖に腕を通そうとしたりすることが増えました。自分でしようとする姿を傍で温かく見守り、動作を言葉で丁寧に伝えながら援助をしていこうと思います。

なぐり描き



シール貼り



レナモザイク



プラスティン



ひかりぐみ

「お片付けするよ」と保育士が声をかけると、使っていた玩具を手に取って片付けたり、場所がわからないときは友だち同士で教え合ったりして進んで取り組む姿が見られました。片付けの歌を歌ったり、みんなで競争しながら片付けたりすることで、一人ひとりが楽しく行えるようにしています。今後も片付けや、様々な身の回りのことに丁寧に誘い掛け、意欲的に取り組む姿を認めることで、楽しい雰囲気の中行えるようにしていきたいと思います。

友だちとのコミュニケーションを喜び、一緒に好きな遊びをしたり、言葉でやりとりしたりする姿が増えてきました。今月は、「ひっつきもっつき」「なべなべそこぬけ」等の様々なふれあい遊びを取り入れ、友だちと楽しくふれあって遊べるようにしていきます。

よいしょっ



ここ?



にじぐみ

先月はたかとりちどりキッズの友だちと一緒に、屋上園庭で遊んだりストップゲームをしたりして体を動かしました。大好きなひっつきもっつきのふれあい遊びをすると、キッズの友だちとペアになり、楽しく歌いながら遊んでいました。一緒に遊ぶ中で、友だちの名前も覚えて積極的に呼んで誘いかけたり、やりとりをしたりして楽しくごっこ遊びも楽しんでいました。今後もやりとりを楽しめるように様子を見守ったり仲立ちしたりして寄り添って関わっていきたいと思います。

戸外に出た際、上着のチャックを自分で締めようとする子どもたちが増えてきました。今月は一人ひとりの自分で頑張る姿を十分に認めたり、さりげなく援助したりして意欲的に取り組めるようにします。

いっしょに
あそぶの
たのしいね





きりんグループ



春に流行った、こま回しやけん玉で遊びました。こま回しはひもを巻くことに躊躇する子が多いので、「ひもは巻こうか?」と尋ねてから巻くようにしています。子どもたちは巻く手間がなくなり、こまを何回も投げるうちに少し回るだけで大喜び!「はじめてまわった」と目をきらきらさせ知らせに来ました。その姿を見てこちらまで嬉しくなります。繰り返すうちにいつの間にか自分でひもを巻けるようになっていました。折り紙は年間通して折っていますが、シリケン、かえる、舟など少し難しいものにも挑戦しています。子どもたちの挑戦しようという気持ちに寄り添い励ましまずは簡単なことから始めて成功体験を増やし、その姿を十分に認め、次への挑戦に繋げていけるよう支えていきます。

今月は改めて食事のマナーについてみんなで考え、正しい姿勢や箸の持ち方などを確認し、援助していきます。



うさぎグループ



先月は、みんなでクリスマスツリーを作りました。絵を描いたあと、友だちが拾ってきてくれたどんぐりや松ぼっくりを飾り付けしました。友だちの絵と見比べて、「〇〇ちゃんのサンタさんかわいい!」「めっちゃやじょうず」と話していました。また、子どもたちの意見をもとに、模造紙に大きな海を描き、壁に貼りました。周りに葉っぱもつけて、フラダンスステージの完成!みんなで手をユラユラ動かしながら踊っていました。今後も主体的な活動が広がるように、子どもたちのアイデアや考えたことを遊びに取り入れていきたいと思います。

毎日、食事とおやつの後に歯磨きを行っています。今月は歯磨きが丁寧にできるように確認したり、丁寧に知らせたりしていきたいと思います。



アロハ~



ぞうグループ



スリッパを脱いだままにする子どもが多かったので、先月は、みんなで話し合う時間を設きました。話し合いの中で、「次に使う友だちが気持ちよく使えるようにそろえる」という意見が出て、脱いだ後にそろえることになりました。自分が脱いだらそろえるだけでなく、他の友だちが脱いだままにしていると、気づいてすぐに向きをそろえようとする子どもが増えてきました。良い習慣が身につくように、思いやりの気持ちを尊重した言葉を掛けていると思います。

今月は、かるたやだるま落とし、福笑いにコマ回しなどの様々な伝承遊びを取り入れ、昔の遊びをのびのびと楽しめる時間を設けていきたいと考えています。



わたし
が
なおして
おくね!



むきを
そろえて~



そらぐるーふ

《自然物を使った遊び》

今月は、そらぐるーふが最近楽しんでいる遊びを紹介したいと思います。

廃材や画用紙などで製作をすることが大好きな子どもたち。どんぐりや栗、松ぼっくりなどの自然物などを用意すると、古くなった粘土とどんぐりを組み合わせ、コアラやくま、ライオンなどの生き物を表現することを楽しんでいました。



プラスチックのカップやフェルトなども組み合わせて、栗のカップケーキやパフェなど食べ物を作る子どももいました。その中で、「クレープがつくりたい」という子どもたちのために、コーヒーフィルターを用意すると、綿をクリームに見立て、どんぐりや可愛いフェルトをトッピングしてチョコ味のクレープを作っていました。

完成した作品を使ってみんなで一緒に食べたり、ごっこ遊びを楽しんだりし、自分たちでアイデアを出して遊びを発展させ楽しんでいました。これからも、廃材以外にも季節の自然物や、子どものアイデアに必要な素材や道具を十分に用意し、イメージしたことを楽しめるように環境を整えていきます。



《 広島大満足の旅♪ 》



先日、広島へ旅行に行ってきました。自然や歴史、美味しい食べ物にたくさん出会い、とても心に残る最高の時間になりました。

～1日目は尾道へ～

尾道といえば、線路沿いを走る黄色い電車の写真や動画が有名ですね。実は私もどうしても写真におさめたくて、カメラを片手にしばらく待つことに。しかしながらタイミングが合わず…ティクスリーでようやく納得の1枚を撮ることができ、思わず小さく「よしっ！」とガッツポーズをしちゃいました。その後は坂道や細い路地を歩きながら、海や街並みを眺め、どこか懐かしさを感じる風景に心が和み、1日目から大満足でした。

～2日目は原爆ドーム、宮島へ～

原爆ドームを実際に目にすることで、平和の大切さや命の尊さについて改めて考える時間となりました。その後は待ちに待った宮島へ。豊かな自然に囲まれながら散策を楽しみました。海と山に囲まれた宮島はとても癒され、心がスッと軽くなった気がしました。海に立つ大鳥居を目の前にすると、迫力と美しさに思わず足が止まり、気づけばしばらく眺め続けていました。

その後は満足するまでシャッターをきっていました。そして、旅の楽しみと言えば…やっぱり食べ物！大好きな牡蠣をたくさん食べ、「やっぱり広島の牡蠣は最高！」と大満足。揚げもみじ饅頭も初挑戦でしたが、外はカリっと中はふんわり甘く、気づけばペロリ。美味しいものが多く、食べるたびに笑顔がこぼれました。自然、歴史、そして美味しい食べ物など、魅力がぎゅっと詰まった広島。心も体も満たされた旅となりました。機会がありましたらぜひ、ご家族で訪れてみてください♪

石崎 あゆみ

